



Avaya J129 IP 電話機クイックリファレンス

リリース 1.0
2016 年 12 月
© 2016, Avaya, Inc.
All rights reserved.

Avaya J129 IP Phone 概要

Avaya J129 IP Phone は、基本的な業務で使用する SIP ベースの電話機です。この電話機は、1回線の通話表示と2回線の通話アピアランス（発着信）に対応しています。

物理仕様

- 通話アピアランス（発着信）×2
- 128 x 32 ピクセルのグラフィカル LCD
- ソフトキー x3
- デュアル 10/100 ネットワークポート
- Power over Ethernet クラス 1 デバイス
- 磁気フックスイッチ

電話機のアイコン

次の表に、Avaya J129 IP Phone で使用するアイコンを示します。

アイコン	説明
	最初のコールアピアランスの回線インジケータ
	2 番目のコールアピアランスの回線インジケータ
	10 件を超える未応答呼の履歴
	発信呼の履歴
	未応答呼の履歴
	着信呼の履歴
	発信履歴 (MDA)
	未応答呼

アイコン	説明
	チェック
	MDA がアクティブ
	新規呼のセットアップ
	ボイスメール
	チェックボックスがオフ
	チェックボックスがオン
	アクティブな会議
	保留中の会議
	コントラスト
	携帯内線
	フェイルオーバー
	ラジオボタンがオフ
	ラジオボタンがオン
	機能が利用不可
	不在転送
	ハンドセット
	保留
	電話のロック
	着信音オン
	着信音オフ
	スピーカー
	応答不可

呼処理

呼を発信する

- 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げるか、[スピーカー] を押す場合は、手順 2 に進みます。
 - ハンドセットを持ち上げず、[スピーカー] を押さない場合は、手順 3 に進みます。
- ダイヤルパッドの数字を押します。

必要な数字を入力するか、桁間タイマーが時間切れになると発信が開始されます。

- ダイヤルパッドの数字を押します。設定したダイヤルモードに従って発信されます。
 - ダイヤルモードが [自動] に設定されている場合は、必要な数字をすべて入力するか、桁間タイマーが時間切れになる前に番号をダイヤルします。
 - ダイヤルモードが [手動] に設定されている場合は、電話をかけたい相手の番号をダイヤルし、[発信] ソフトキーを押します。

連絡先リストから電話をかける

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

- 連絡先を検索するには、以下のいずれかを行います。
 - 会社のデータベースに保存されたリストから検索する場合は、手順 2 に進みます。
 - 電話機に保存されたローカルの連絡先から検索する場合は、手順 3 に進みます。
- 会社のデータベースに保存されたリストから検索するには、次のいずれかを実行します。
 - [電話] 画面で [連絡先] > [検索] を押します。名または姓を入力し、[検索] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。"ダイヤルパッドで検索" メッセージがタイムアウトするまで待機します。[検索] を押します。名または姓を入力し、[検索] を押します。
- 電話機に保存されたローカルの連絡先から検索するには、次のいずれかを実行します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
 - IP 電話機に "ダイヤルパッドで検索" メッセージが表示されたら、電話をかける相手の名前の文字を入力します。たとえば、Smith という名前を検索する場合、7、6、4 を押します。
- 選択した連絡先の番号に発信するには、[発信] または [OK] を押します。

通話履歴から発信する

- 以下のいずれかを行います。
 - [メインメニュー] > [履歴] を押します。
 - [履歴] を [電話] 画面で押します。

* 注

電話機に緊急ダイヤルが設定されている場合は、[緊急] ソフトキーが電話画面の [履歴] ソフトキーに置換されます。

2. [上] / [下矢印] キーを使って呼び出したい番号を選択します。
3. [発信] または [OK] を押します。

緊急通話を行う

管理者が電話機に緊急通報を設定した場合、[電話] 画面にはあらかじめ設定された緊急サービス番号にただちに接続できる [緊急] ソフトキーが表示されます。

[緊急] ソフトキーを使用すると、システム管理者によって最優先順位が設定された番号にのみダイヤルできます。また、すべての緊急電話番号に手動でダイヤルすることもできます。

ただし、電話機に緊急ダイヤルが設定されていない場合、[履歴] ソフトキーが [緊急] ソフトキーに置換されます。

* 注

管理者がユーザー向けにこの機能を設定している場合のみ、電話機のログアウト時に緊急通話をかけることができます。電話機をロックした場合にも緊急通話をかけることができます。緊急通話機能は、電話機にログインしている場合のみ IP Office で使用できます。また、IP Office 環境では [緊急] ソフトキーは使用できません。緊急電話番号は手動でダイヤルする必要があります。

! 重要

電話機のフェイルオーバー中で、システムエラーが原因で電話機がシステムサーバーを切り替えているときは、電話機が代替サーバーに接続されるまで、[緊急] ソフトキーを使用できない場合があります。このプロセスには数秒かかることがあります。

1. 次のいずれかを実行します。
 - [電話] 画面で [緊急] を押します。電話機に確認のメッセージが表示されたら [緊急] を押します。優先順位の最も高い番号に発信されます。
 - 緊急電話番号を手動でダイヤルします。
2. 緊急通話を終了するには、[スピーカー] を押します。

仲介転送を行う

仲介転送とは、呼を転送する前にアクティブな呼を保留し、通話転送の着呼者と 2 番目の呼を確立することを指します。

1. 通話中に [転送] ソフトキーを押します。
2. 次のいずれかの操作を実行し、通話転送の着呼者に電話をかけます。
 - キーパッドを使用して番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから電話をかける。

呼が保留になり、2 番目の呼の着信音が鳴り始めます。通話転送の着呼者が呼に応答します。

3. 転送を完了するには、[完了] ソフトキーを押します。選択された番号に呼が転送されます。

* 注

Avaya Aura® 環境では、管理者がハングアップ時の転送機能を有効にすると、呼を切断して転送を完了できます。

ブラインド転送を行う

ブラインド転送とは、通話転送の着呼者との呼を確立せずにアクティブな呼を転送することを指します。

1. 通話中に [転送] ソフトキーを押します。
2. 次のいずれかの操作を実行し、通話転送の着呼者に電話をかけます。
 - 番号をダイヤルする。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから電話をかける。呼が保留になり、2 番目の呼の着信音が鳴り始めます。
3. 転送を完了するには、[完了] ソフトキーを押します。選択された番号に呼が転送されます。

* 注

- 未応答転送は、リコール転送として電話機に戻されることがあります。
- Avaya Aura® 環境では、管理者がハングアップ時の転送機能を有効にすると、呼を切断して転送を完了できます。

国際通話を行う

E.164 は国際公共電話番号の標準フォーマットです。E.164 番号は最大 15 桁まであり、プラスのマーク [+] で始まりません。以下の手順を用いて E.164 番号にダイヤルします。

1. [0] キーを長押しして、プラス記号 (+) を表示します。
2. 電話をかけたい番号をダイヤルします。

不在転送を使用する

不在転送を有効／無効にする

この手順を使用して、指定された番号に着信を不在転送します。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。

2. [下矢印] キーを使って [通話転送] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押します。
4. [着信先] フィールドに、着信の転送先の番号を入力します。
5. [保存] または [OK] を押します。電話機から確認音が鳴り、機能メニューに戻ります。
6. 不在転送機能を無効にするには、[通話転送] 画面に移動します。
7. [選択] または [OK] を押します。

電話会議を管理する

アクティブな呼に相手を追加する

この手順を使用して参加者をアクティブな呼に追加し、電話会議を設定します。

ユーザーは通話中である必要があります。

1. アクティブな呼の最中に、[電話] 画面で [会議] を押します。アクティブな呼が保留にされます。
2. 電話番号をダイヤルするか、[連絡先] リストから相手に電話をかけるか、または [履歴] リストから相手に電話をかけます。
3. 相手が呼に応答したときに [参加] を押します。
4. 他者を追加するときは、[追加] を押して手順 3 と 4 を繰り返します。IP Office 環境では [追加] ソフトキーは使用できません。その場合、会議は電話機でホストされ、3 人の参加者のみサポートされます。

連絡先を管理する

新しい連絡先を追加する

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

1. 以下のいずれかを行います。
 - 連絡先リストに連絡先が表示されない場合、[連絡先] > [新規] を押すか、[メインメニュー] > [連絡先] > [新規] を押します。
 - 連絡先リストに 1 件以上の連絡先が表示される場合、[連絡先] > [次へ] > [新規] を押すか、[メインメニュー] > [連絡先] > [次へ] > [新規] を押します。
2. ダイヤルパッドを使って、名または姓を入力します。
 - 入力する文字または数字に該当するテンキーを押します。

- 文字が同じキーにある場合、次の文字を入力する前に一時停止してください。
 - スペースを入力するには、**0** を押します。
 - 残りの文字または数字を入力します。
 - 記号を入力するには、[次へ] > [記号] を押します。ナビゲーション矢印を使って入力する記号を強調表示し、[挿入] を押します。
 - 最後の文字を削除するには、[Bk スペース] ソフトキーを押します。
3. 番号を入力します。
連絡先番号には、**a ~ z**、**A ~ Z**、**0 ~ 9** と、コンマ (,)、プラス (+)、ドット (.) などの特殊記号を使用できます。
 4. [保存] を押します。

連絡先を検索する

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

1. ローカルの連絡先から連絡先を検索するには、次を行います。
 - a. [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
 - b. ダイヤルパッドを使って連絡先の名または姓を入力します。
たとえば、**Smith** を検索する場合、**7**、**6**、**4** を押します。
2. 企業ディレクトリから連絡先を検索するには、次を行います。
 - a. [電話] 画面で [連絡先] > [検索] または [メインメニュー] > [連絡先] > [検索] を押します。
 - b. ダイヤルパッドを使ってフルネームの一部か、姓または名の一部を入力します。
 - c. [検索] を押します。
ローカルの連絡先に連絡先を追加するには、[登録] を押します。

通話履歴を管理する

通話履歴メニューから通話履歴を追加または削除する

1. 以下のいずれかを行います。
 - [履歴] を押します。
 - [メインメニュー] > [履歴] を押します。
2. 追加または削除したい番号を選択します。
3. [詳細] を選択します。

4. 次のいずれかを選択します。
 - [登録]：通話履歴メニューから通話履歴を連絡先リストに追加します。
 - [削除]：通話履歴から通話履歴を削除します。

* 注

IP Office の場合：

- 連絡先機能には対応していません。このため、通話履歴は連絡先リストに追加できません。
- [削除] ソフトキーは [メインメニュー] からのみ使用できます。

通話関連機能を使用する

コールパーク / コールパーク解除

この手順を使用してアクティブな呼を一時保留し、別の内線番号からの呼に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

1. アクティブな呼の最中に、[メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [コールパーク] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押します。
電話機は通話を一時保留します。
4. 一時保留中の呼に応答するには、[メインメニュー] > [機能] を押します。
5. [下矢印] キーを使って [コールパーク解除] 画面に移動します。
6. [選択] または [OK] を押します。
7. コールが一時保留されたときの内線番号を入力します。
8. [OK] を押します。
電話機は呼の一時保留を解除します。

アクティブな通話間を切り替える

1. アクティブな呼の最中に、次のいずれかを実行します。
 - 新しく発信するには、[新規コール] を押して、2 人目の内線番号をダイヤルします。
 - 着信に応答するには、[応答] を押します。
2. 2 つのアクティブな通話間で切り替えるには、[切替] を押します。

自動コールバックを設定する

内線番号が話中の場合は、この手順を使用して、内線番号が解放されたときに自動的にコールバックを受信できるようにします。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

1. 通話中に [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [自動コールバック] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押して [自動コールバック] を有効にします。
コールバック呼を終話すると機能は自動的に解除されます。

携帯内線を起動する

この手順を使用して、携帯電話で呼に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

システム管理者は、携帯電話で着信を受信できるように電話機をプログラミングする必要があります。

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [携帯内線] 画面に移動します。
3. [OK] を押します。

スピードダイヤルを割り当てる

この手順を使用して、スピードダイヤル番号を連絡先に割り当てます。スピードダイヤルは 9 件まで割り当てることができます。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [スピードダイヤル] を選択します。
3. [上] / [下矢印] キーで、スピードダイヤル番号を選択します。
4. [連絡先] を押して、連絡先を選択します。
5. [選択] を押して、選択したスピードダイヤル番号に連絡先を割り当てます。
1 件のスピードダイヤル番号に割り当てられる連絡先は 1 つのみです。

表示言語

表示言語を設定する

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [言語] を選択します。
3. [選択] または [OK] を押して、言語を変更します。
4. 電話機に確認のメッセージが表示されたら [はい] または [OK] を押します。
電話機の画面が [表示設定] に戻り、選択した言語に変更されます。

詳細について

ユーザーガイド、管理者用ガイド、インストールとメンテナンスガイド、インタラクティブドキュメントおよびソフトウェアのダウンロードを含む最新のサポート情報は、www.avaya.com/support にあります。